#### 兵庫教育大学 CReATE Seminar:Society5.0×Teacher Education研究会

### 「教える」より「学び合う」場を創ろう!

オンライン&ハイブリッド時代の 参加型授業のつくり方

2022.3.2
国立大学法人 東京工業大学
リベラルアーツ研究教育院 教授
中野民夫

### 「教える」より「学び合う」場を創ろう! オンライン&ハイブリッド時代の参加型授業のつくり方 <要旨>

- 日本でもここ20年位の間に、参加体験型のワーク ショップや参加型の場をつくる技法ファシリテーショ ンが分野を超えて広がってきた。
- この普及に貢献してきた講師(中野)は、ここ10年ほどは大学教育に活かすべく、対話を重視した参加型授業を目指して奮闘してきた。
- 東工大のリベラルアーツ研究教育院での事例などを元に、教員が一方的に「教える」よりも学生同士が「学び合う」場をどう調えたら良いのか、対面とオンラインの両方の事例を通してお伝えしたい。

## Agenda

10:40-12:10

- •1. オリエンテーション
- ・2. 参加型授業の事例紹介
  - Part1: 対面→オンライン
  - Part2: 全学への展開
- 3. ファシリテーションの基礎スキル

## 中野民夫自己紹介

・東京工業大学 リベラルアーツ研究教育院 教授

(大学院)環境社会理工学院社会・人間科学コース 教授

- コミュニケーション論、参加型の場づくり(ワークショップ・ファシリテーション)、 マインドフルネス
- 博報堂 (広告会社) に30年(1982~2012)
  - 後半は企業の社会貢献、愛知万博「地球市民村」、環境等社会テーマ系
  - 2012年に同志社大学教授に、15年9月から東工大
- ワークショップ企画プロデューサー
  - 90年前後に米国CIIS留学、組織開発・変革学修士 (ワークショップ研究)
  - 市民活動、NPO/NGO、企業、行政、まちづくり、研修、学校教育等で
- 屋久島「本然庵」主宰
- 遅咲きのシンガーソングライター
- 日本環境教育フォーラム(JEEF)理事、日本ファシリテーション協会フェロー、 Be-Nature Schoolファシリテーション講座監修



『兵庫教育』 第53巻第5号 2001年8月号 No.606に、 原稿「WSの非日 常性の可能性」

ワークショップ 新しい学びと創造の場 (岩波新書、2001)

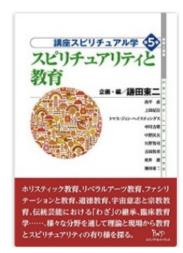


みんなの楽しい修行 より納得できる人生と社会のために (春秋社、2014)

## 主な著作



ファシリテーション革命 参加型の場づくりの技法 (岩波アクティブ新書、2003) \*現在、電子出版のみ



スピリチュアリティと教育 (共著、ビイング5ネット・プレス、2015)



ファシリテーション 実践から学ぶスキルとこころ (共著、岩波書店、2009)



#### ファシリテーションで大学が変わる

〔三田地真実後共編著、ナカニシヤ、2016〕



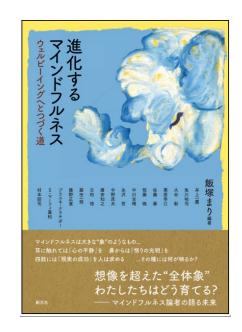
#### ナ い ロ ノ 切 い ノ へ り ノ 」 -- 木 ツ の ヴ バ へ の ファシ 川 テション

--本当の学びへのファシリテション (岩波書店2017)



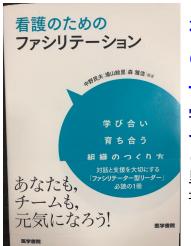
### えんたくん革命

1枚のダンボールがファシリテーションと対話と世界を変える (川嶋直と共著、みくに出版2018)



#### 進化するマインドフルネス

ウェルビーイングへとつづく道 (飯塚まり編、共著、創元社2018)



看護のため のファシリ テーション 学び合い育ちらう組織のつくりり 中野民夫・浦山医 里・森雅浩著、医学 書院、2020)



#### 新・大学で 何を学ぶ か

(上田紀行編著、 岩波ジュニア新書、 2020)

\*東工大リベラル アーツ研究教育院 の14人の先生たち の共著



#### 新刊

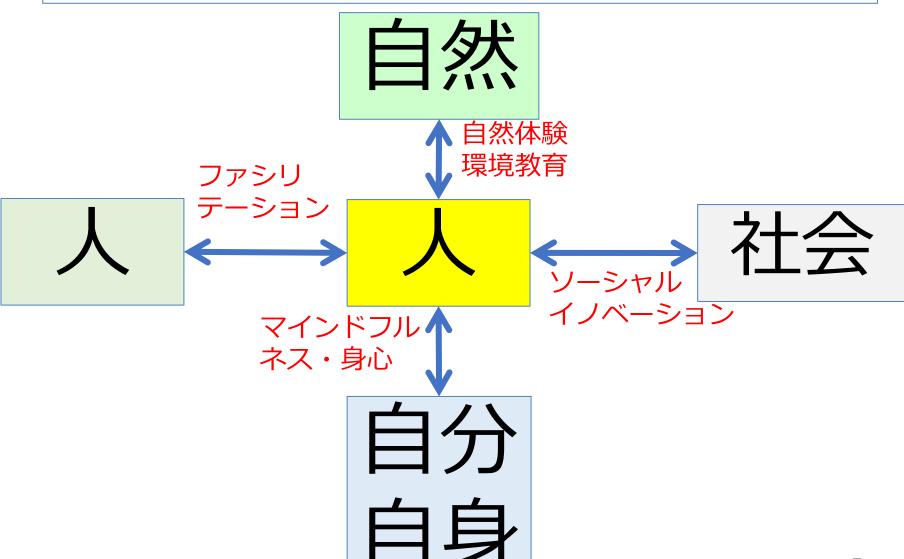
#### ファシリテー ションとは何 か?

(井上義和・牧野智 和編著、ナカニシヤ 出版、2022)

\* 若手教育社会学 者2人の編集の共著

## 人と人・自然・自分自身、社会を 「つなぎ直す」仕事

the work that re-connect



# <=-ワード確認1> ワークショップ(WS)とは

- "workshop" :
  - 工房、仕事場、共同作業場。一緒に創る場
- 「講義など一方的な知識伝達のスタイルではなく、参加者が自ら参加・体験して共同で何かを 学びあったり創り出したりする、学びと創造の スタイル」(『ワークショップ』中野、岩波新書、2001)
- 「参加」「体験」「相互作用」が鍵、非日常性も大事
  - 元々、正規教育外で探究されてきた「野生の学び」

# <キーワード確認 2 > ファシリテーション(F) とは

- "facilitate"
  - 「促進する」「<事を>容易にする」
- 「人々が集い、何かを学んだり、対話したり、 創造しようとする時、その過程を、参加者主体 で、円滑かつ効果的に促していく技法」(中野 2012)
  - 簡単な正解のない時代に協働・共創を育む、新しい支援型 リーダーシップとして注目
  - 主役は参加者:学習者主体のアクティブラーニングに有効

## 大事にしていること

- ワークショップ、ファシリテーションを長年実践
  - 一緒につくる場、参加者主体の学び合いを促し支援。
- 「教える」より「学びあう」場を創ろう!
  - 聞くだけでは育ちにくい主体性を育みたい。
- ・ 学生同士の横の「**対話**」の場を丁寧につくる。
  - 雑なグループワークは逆効果!入念な場づくりを。
- 特に今、コロナ禍での人と人との**交流**を補完。
  - オンラインでも意外にやれる。zoomのBORの活用。

## Part1. 参加型授業の事例

(対面→オンライン)

## 東工大立志プロジェクト

- ・2016年度からの大学大改革
  - 4クオーター制、6学院に統合、教養教育拡充
- ・リベラルアーツ研究教育院(ILA)創設
  - 専門性+人間性・社会性・創造性+大きな志を!
    - 1年から大学院修士・博士課程まで
- - 新入生約1,100人→28人の少人数クラス(40組)
    - 少人数クラスの中に4人のホームグループを形成
  - 40人近い先生が専門を超え「ファシリテーター」

### コロナ前の4月木曜の講堂講義。新入生全員を半分560人ずつ。池上彰氏から



## 講堂講義の多様な講師 2019の例

- 4/4 池上彰(ジャーナリスト・東工大特命教授)
- 4/11 今村久美(NPOカタリバ代表)
- 4/18 佐々木紀彦(NewsPicks編集長)
- 4/25 平田オリザ (劇作家)
- 5/16 永野三智(水俣病患者支援)
- 5/23 釈徹宗(僧侶)
- 5/30 ILA教員シンポジウム

ゲスト講演の前後、上田院長が導入と司会を務め、大いに盛り上げる。



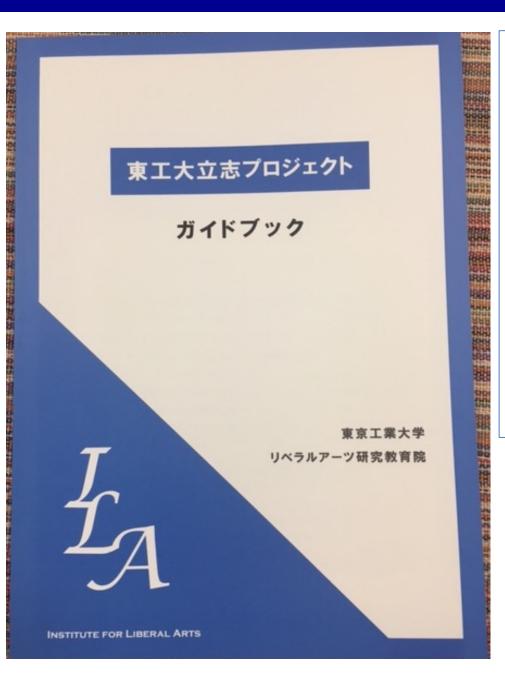
## 次第に質疑応答の手がどんどん上がりるようになり、関係者もびっくり。



### 講演後、サイン会には長蛇の列。文系本が毎週百冊以上売れる!



#### 立志プロジェクトのガイドブックの巻末に「ふりかえりノート」に宿題を記入



#### ガイドブックの内容

- 序. 立志プロジェクトとは?
- 1. グループワークを楽しもう!
- 2. プレゼンテーションでまとめよう!
- 3. アカデミックライティング
- 4. 書評を書いてみよう
- 5. 書評のための課題図書リスト
- 6. ピアレビューをしてみよう

## 付録 ふりかえりノート

- ①サマリー(要約)何を聴いたか、
- ②レスポンス(応答)何を感じ、考えたか。

を書いて少人数クラスへ

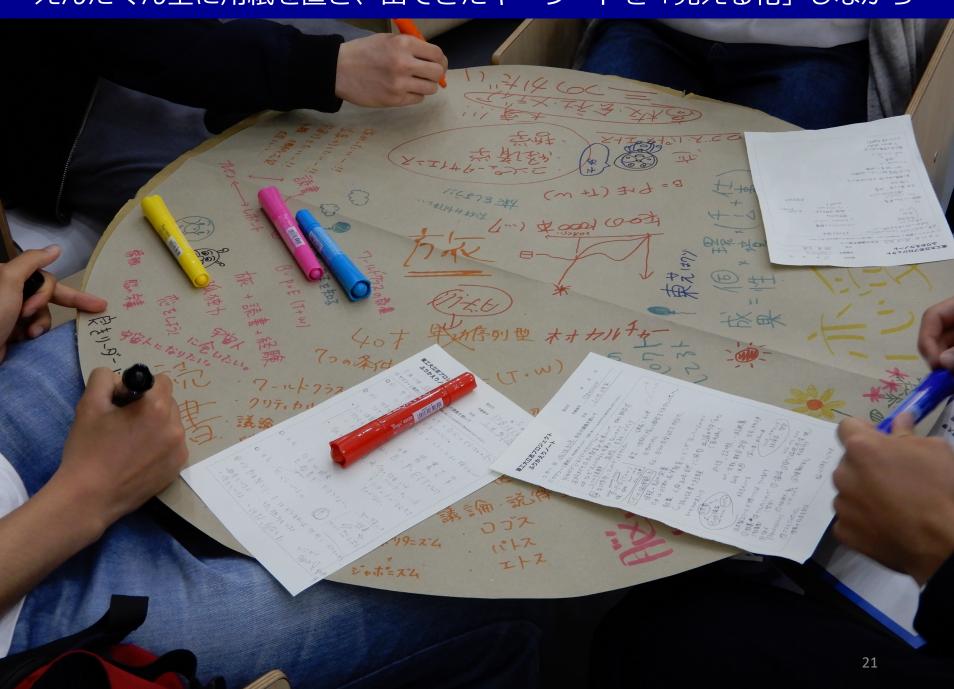
### 少人数クラス、机を片づけ、まずは椅子のみで輪になって座り、チェックイン



### えんたくんを使い、お互いの「ふりかえりノート」を回し読みし、話し合う。



### えんたくん上に用紙を置き、出てきたキーワードを「見える化」しながら



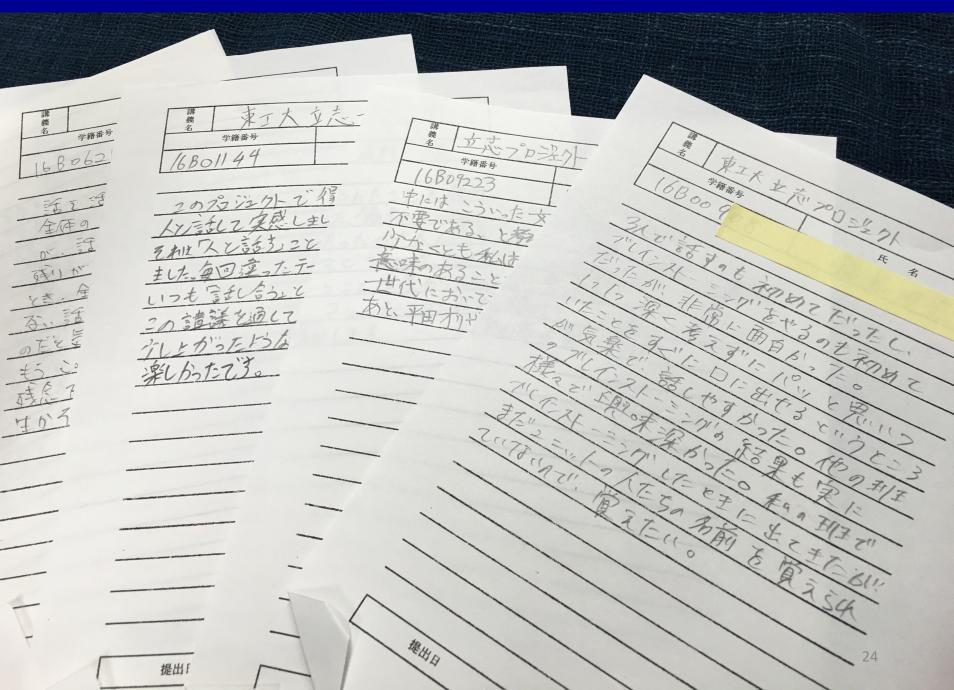
20分ほどで席替えして、新たな仲間と「レスポンス」を読み、話し合う。



基本的に学生におまかせ。教員も同じ高さで、関心は示すが介入は最低限。



## 毎回最後にフィードバックシートに「今日の発見、気づき、学び」を書く



最終回は、班の「学び3か条」の後、一人ひとりが「私の志」を発表。



教員FD で共有

#### 東工大立志プロジェクト「少人数クラス」基本進行案 プログラムデザイン曼荼羅

2016.2.22 中野民夫

- ・詳細は、別紙「プログラムデザイン曼荼羅の解説」参照。
- ・「プログラムデザイン曼荼羅」に ついては別紙【参考】基本参照。
- ・右上から時計回りにご覧下さい。 時間は3・4限の場合の例。

12:15(90) 10:45(0) 事前準備:場作り(椅子・机の並べ方、座り方)・お道具確認

5~10' クロージング フィードバックシート記入 次回講義について紹介 連絡事項 (全体シェア・自由な話し合い)

(オープニング) 5~10' 開講、挨拶 オリエンテーション (目的・アジェンダ等の説明)

10~15'

#### まとめセッション

(今日何を学んだか) 席替えして別の中グルー プで今日の学びを話し合 う。チェックアウト。

11:50(65)

(次第に、最終プレゼ ンに向けて準備を) 5~10' 全体シェア・補足コメント

15~20'

#### ②レスポンス

(何を感じ考えたか) ふりかえりノートの裏 ②レスポンス(応答) を元に、話し合う。

- ・まずノートを回し読み。
- 一人ずつ、感じ考えたことを話す。
- 発展させて自由に話し合う。

結 目標・ねらい 講義を振り返り、

> 小グループで話し合って、お いに刺激し

転<sub>25</sub>学び合う。

席替え もあり

補足のコメント等ポイントの確認、

5~10°

**導入ワーク** 5~10' (アイスブレイク)

ホームグループチェックイン: 初回は自己紹介を丁寧に。 慣れてきたら、今週のトピック、今の気分等

(慣れてきたら、 席替えもあり)

15~20'

11:00(15)

# 25,41

(講義で何を聴いたか) ふりかえりノートの表 ①サマリー(要約) を元に、話し合う。

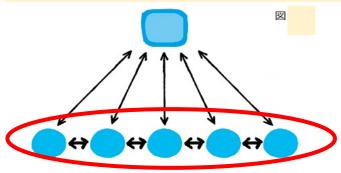
- ・まずノートを時計回りで回し読み。
- 一人ずつ、印象に残ったことを話す。
- ・何が語れていたのか自由に話し合う。

## 教員は学び合いの場をサポート

「教える」より「学び合う」場を!

- 参加型の場づくりの技法、 ファシリテーションを活用
  - 「教える」のではなく、引き 出し、協働・共創を促し支援
  - 自分で発見し自分で身につけたものが一番身につく。
- 教員同士もえんたくんを使って実際にやりながら、FD研修 や毎回のふりかえり会。
- 稀有な協働で教員組織の「同僚性」(collegiality)も高まる。

#### 小グループ対話(横の双方向を!)





## 2020年度からオンライン

- 2020年、春、5月4日からオンライン授業
  - 昨年、そして今年も・・・
  - 対話を大切にしているがため、対面が難しい
- 講堂講義→木曜に動画をオンデマンド配信
- 少人数クラス→時間割通りzoomライブ型
- 新学期、誰とも会えず、友だちもできない時期 に貴重な交流の場として、それなりに好評。

## 対話の文化は少し広がった

- ・2020年度からあらゆる教員会議もオンライン
  - 教員同士のコミュニティもつながりが希薄に
- 最近はオンライン教授会前に、若手の先生の自 主的な発案で交流会を開催
  - ・15分前に集まり、ブレイクアウトで自由に交流
- ・リーダーシップ教育院(ToTAL)では教員会議の 冒頭に「チェックイン」
  - ・教員と事務職員約20名が全員一言近況など話す
  - 好評で、アジェンダにも入って定例化

# 大教室他での展開



そんな中でも工夫してクジで席を決め、4人組を作り、対話のある参加型授業を実践。



## 数年前のコミュニケーション論A 百年記念館1Fホールを借りて小グループ対話



## 伝説の「えんたくん」

円形段ボールのシンプルな対話促進ツール



## 2020年度コミュニケーション論A。アクティブ・ラーニング対応型の新しい平場教室で



# 「参加型授業」の意義学生の声を集約すると

楽しい!

世界が広がる。

コミュニケーション力 が身につく。

自ら何かやりたくなる。 (主体性が育まれる)

# 「会話」と「対話」と「議論」の違い 丁寧に分けて検討していきたい、と初めに強調。

- 「会話」 (conversation)
  - 特定の目的や結論のない、おしゃべり、雑談。
  - 社交や情報を得る上で重要。オンライン時代に注目
- 「対話」(dialogue)
  - 特定のテーマについて、きちんと向かい合って話し合うこと。二人には限らない。
  - 勝ち負けはなく、新たな「創造」につながる話し合い。
    - 但し自分の意見に固執せず「想定の保留」が大事!(D.ボーム)
- 「議論」 (discussion)
  - 元々、どちらの意見が正しいか、正解を競うもの。
  - 勝ち負けがある(典型例はディベート)。結論が求められる。
    - \*但し、日本では「ディスカッション」を幅広い意味で使う。

# オンラインの時代も、 丁寧な場づくり

10人~170人の全ての授業で実践

初めが肝心



# 初めが肝心:始まる前から少しずつファシリテーション基礎スキル「1の技:場づくり」

- zoomは15分前から開け、BGM流す(雰囲気づくり)
- ・開始2分前に自作の「ズームの歌」動画流す→実演
  - 「今日もzoomのお世話になるので、感謝を込めて」「ん?何これ~?」
- ・ オンタイムで「はい皆さんこんにちは~」 (ややHigh Tensionで)
  - 「どんな人がいるのかな?ビデオオンにして顔を出してみて~」
- オリエンで、目的・流れ・参加の心得を説明
  - 土俵の設定。「自分がいてもいなくても変わらない授業」ではない!
- 早めに参加者全員が一言話す「チェックイン」
  - 20人以上だと、ブレイクアウトで少人数に分ける
  - お題、話す順番、時間など、進め方はしつかり説明し、丁寧に仕切る。

#### 輪になって座ろう(えんたくんの歌)替え歌

## FAJオンラインバンド版「zoom開いて座ろう!」

2020.5.3中野民夫

C C G C F C G C

<前奏>1行分

- \*zoom開いて座ろう、ミュート解除し語ろう、
- 1) zoomを開くとお互いの 顔が見えるよニッコニコ。 ギャラリービューで皆見える、近づきすぎると鼻ばかり。 どこにいたってかまわない、後ろ汚なきゃバーチャルで。

<間奏1>2行分

- 2) ブレイクアウトで少人数、小部屋に分かれて語り合おう。 いろんな人の思い聞き、そうそうアハハと元気出る。 あっという間に時が経つ、やりすぎ飲み過ぎ注意しよう。
- <間奏2>2行分
- \* zoom開いて座ろう、ミュート解除し語ろう。 輪 (わ)、話 (わ)、和 (わ) ~!

## 導入ワーク①:チェックイン

- 「どんな人がどんな思いでここにいるの?」
  - 会の初めに全員が一言ずつ話して共有すること。
  - BOR4人組。何かのご縁。興味を持って聴き合おう。
- A4紙などを四つ折り(ノートに縦横線引くも可)
- お題(問い)に対するキーワードを大きく書く
  - ・次頁の項目のまず1)と2)について大きく書いて。
- 一人ずつ見せながら話し、一巡したら自由に。
  - ・時間:1)と2)合わせて、一人1分、計4分(+ 戻るのに30秒=猶予期間、戻らずに使い切って)
  - ・分かれたら、一番上の帯で自分のルームNoを確認 して。

 どこの誰 所属、名前(出身、 サークルなど)

2)好きなこと・ 夏の間やってたこと

## 導入ワーク①:チェックイン

- 「どんな人がどんな思いでここにいるの?」
  - 会の初めに全員が一言ずつ話して共有すること。
  - BOR4人組。何かのご縁。興味を持って聴き合おう。
- A4紙などを四つ折り(ノートに縦横線引くも可)
- お題(問い)に対するキーワードを大きく書く
  - 次頁の項目のまず1)と2)について大きく書いて。
- ・まず分かれたら、挨拶を。一緒にルームNoの確認。
- 話す順番は、姓の50音順。(名前入ってる?)
- 一人ずつシートを見せながら。一巡したら自由に。
  - 時間:1)と2)合わせて、一人1分、計4分(+戻るのに30秒=猶予期間、戻らずに使い切って)

# 導入ワーク②

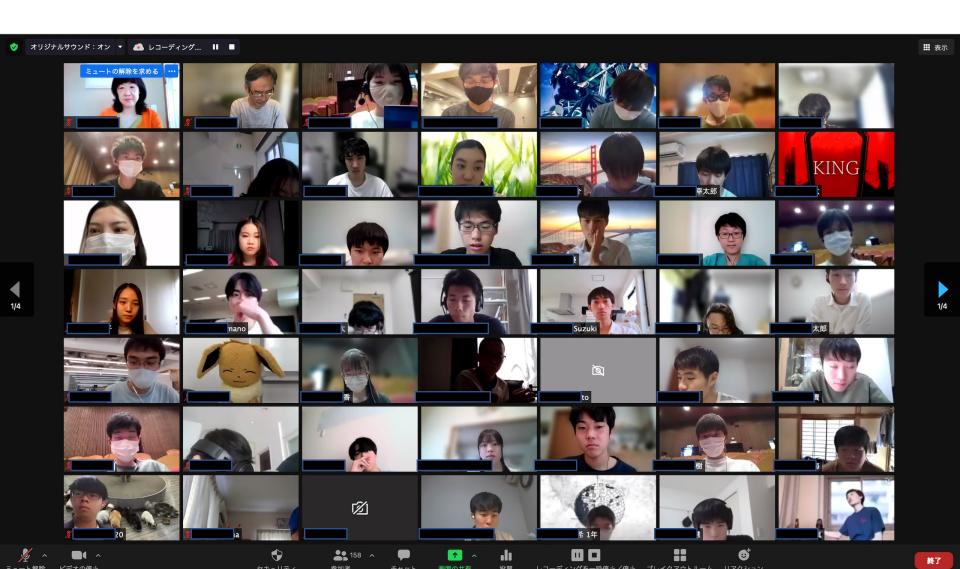
- いかがでしたか?
- さらに、もう少しお互いに知り合おう。
- 3) と4) について話しあうので、先に記入を。
  - ・3)コロナ禍で辛いこと、意外によかったこと
  - ・4) 今の時点での「志(やりたいこと・夢)」
- 先の順番で。今度は一人2分。右上の時間表示を見て。
  - 短すぎるのもダメ。本人が詰まったら質問を。
  - 計10分。余った時間は互いに興味を持って、質問し合い、自由に深めあおう。

3) コロナ禍で辛 いこと、意外によ かったこと 4) 今の時点での 「志」(やりたい こと、夢)

# 全体で、少しふりかえり

- ブレイクアウトルーム、どんな雰囲気、印象で したか?どんな気づきや発見がありましたか?
- 少人数での対話と、全体でのわかちあい(学びの共有)を、行き来したく。
- どなたかミュートを解除し、話して!
- →少人数で話が弾むと、大人数の場でも発言が 出やすい。
  - 仮に出ない場合、「僕は当てませんから。残念だな あ。じゃ、次に行きます」とアテナイ主義

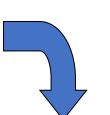
## 自然と皆が顔を出せる場で 楽しくコミュニケーション



### なぜ初めを丁寧にやるか?

「成果」を急ぐ前に、急がば回れ まずは「関係の質」を上げよう





ダニエル・キム 組織の成功循環モデル









# 行動の質

# オンライン授業での ふりかえり(フィードバック) シートの活用

# 最後にGoogleフォーム フィードバックシート記入

- https://docs.google.com/forms/d/
- 今日はどんな気づきや発見、そして学びがありましたか?
  - 少し静かに自分の中で振り返ってみてください。
  - ・なるべく簡潔かつ具体的に、書いてみてください。
    - (この後15分以内or今日中に)

#### まとめて読める。出席の確認にも。最近は匿名希望の名前を抜いて全員に共有。



21コミ論A(回答) ☆ 🗈 👁

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール フォーム アドオン ヘルプ <u>最終編集: 数秒前</u>

	A	В	С	D
1				
2	タイムスタンプ	1. 学籍番	2. 氏名	3. 今日の学び・気づき・発見(フィードバック)
961	2021/07/19 14:16:19	21B11488		自分も病みがちなので今日の授業はためになりました。黒い衝動みたいなものがたまに出てきてしまいます。
962	2021/07/19 14:16:20	21B51163		同じサークルだが、お互いに認識できていなかった人とグループになって話すことができてよかった。毎週のように新たな人と話しているから気持ちの面で後ろ向きな気持ちが少なくなってきたように思われる。
963	2021/07/19 14:16:22	21B51401		対話にファシリテーターとして参加するにも、色々と考えて準備したり実行したりする必要があるということがよく分かりました。先週の分科会の際にホストをしたときは思うようにいかなかったので、今回の内容を踏まえて成長していきたいです。
964	2021/07/19 14:16:22	21B00728		今日はたくさんの人といろいろな意見を交換できた。僕の知らないゲームや漫画の話をしていて、楽しそうだった。
965	2021/07/19 14:16:22	21B50040	벟	ファシリテーションについて、良い活動には良い関係が不可欠であることを改めて感じ、特に初対面の場合は1番初めの雰囲気がすぐには変化しないと思うので、最初に良い雰囲気を作ることが大切だと思いました。
966	2021/07/19 14:16:23	21B40679		名前の五十音順で自己紹介をしようとしたところ、漢字がよめなくて数秒沈黙。国語を勉強したいと思います。 4,5人は話しやすくてよかった!
967	2021/07/19 14:16:24	21B01455	1.15-1-15	教授によって授業が全然違うことに驚いた。
968	2021/07/19 14:16:25	21B11360		人によって3人が一番話しやすかったり、2人が一番やりやすかったり人それぞれだなと感じた。
969	2021/07/19 14:16:26	21B40640		聴いている自分の様子が思ったより暗いことなど聴くことがむずかしいということを痛感した。ブレイクアウトルームでもそういう意見が多かった。
970	2021/07/19 14:16:28	21B40946		今回気が付いたのは、みんなコミュ論を通して少しずつコミュニケーション能力が上がったのだろうということだった。コミュ論は最初は結構BORもぎこちなくて大丈夫かなと思ったが、最後にはちゃんと話せるようになってて有意義な授業だったと思った。

## 前回6/14フィードバックシート175枚から (User Local のAIによるテキストマイニング)

ワードクラウドスコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさで図示しています。 単語の色は品詞の 種類で異なっており、青色が名詞、<mark>赤色が動詞</mark>、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。

気まずい 今回 しやすい 驚く 欲しい 上手い 楽しい 慣れる 重い レンレン 交流 わかる 短い 新しい 違い 友達 良い 面白い 知る 参加 よい 難しい 思う 意見 少ない オンライン 分かる なれる

## User Local AIテキストマイニングに、175名の回答を入力 文書要約 <ダイジェスト> 3、5、10行

- これからは頑張りすぎないようにしたいと思います。
- ブレイクアウトルームでの振る舞い方に慣れてきた。
- この授業の意義が分かったような気がする。
- 実践的にやってみたいと思いました。
- たくさんの人と対話できて、とても楽しかった。
- 四人中3人が女子だったので話しやすかった。
- オンライン上でも人と話すことは楽しいと思った。
- やはり、多くの人と話すのは楽しいです。
- 議論、対話、会話が違うということを初めて聞いた。

# フィードバックシートより

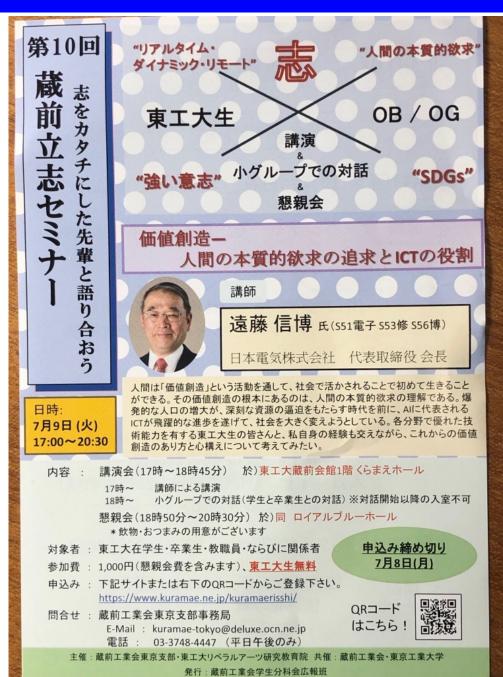
いくつか取り上げたいものを抜粋しコメント

- スライドを見て対面での授業がすごくうらやましく思った。 しかし、ズームの良さを生かしていきたい。根詰めすぎないように頑張ろうと気づいた。大学でのズームは頻繁に落ちてしまい、やりづらかった。ルームナンバーを覚えていなければと反省。
- みんなグループワークに慣れていたのか、途切れずに楽しく会話できた。東工大生はコミュニケーションが苦手だといわれるが、そうではないと感じた。
- 自転車をこいでいてもzoomうけている人がいて驚いた。
- 歌がとても印象に残った。曲調で雰囲気が伝わるのでコミュニケーションに最適だと思った。

# Part2. 全学行事への展開

同窓会のセミナー 全学のビジョン策定 200人ワークショップ 未来社会デザイン機構(DLab)

#### 東工大同窓会の蔵前工業会「蔵前立志セミナー」。講演+グループ対話



東工大は元々、蔵前にあった、 という話、知ってますか?

#### OB/OG組織を「蔵前工業会」 といいます。

日本全国や世界各地で、先輩 方が活躍してきています。 皆さんもそのコミュニティの 一員ですよ。

NEC会長など、多様な先輩が 来て、話をしてくれるセミ ナー (+ 懇親会) が年 4 回。 ILAとの共催。

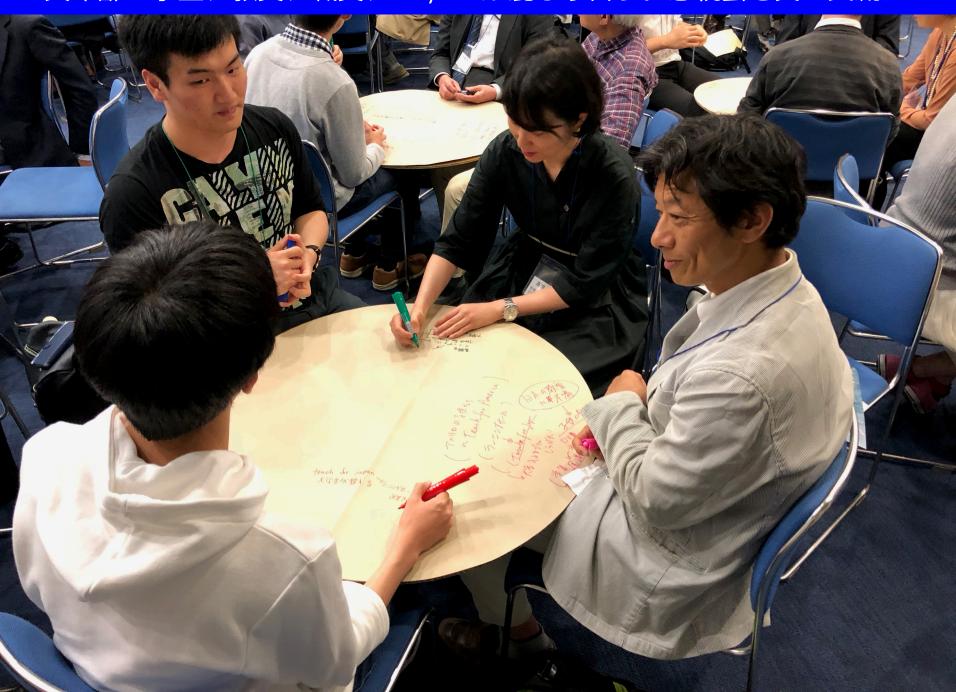
教養を広げ、キャリアについて考え、多様な人々と対話するチャンスです。

当面オンライン、ぜひ参加 を!

## 社会人と学生が混じり合うよう綿密に席を準備し、講演後にえんたくん対話



## 異年齢の学生、教員、職員、OB/OGが混じり合う。懇親会も真の交流に



## 「東工大ステートメント」私たちは何者であるのか?

これもワークショップの結晶

https://www.titech.ac.jp/tokyotech2030/

この世界にまだ、 まままま ないものを見つけ、 だだだだ 創りだせた喜びそして、 世界の人々の幸せに 想信触見 つなげていく喜び 像じれた 私たちは、その喜びを さらたこ 手にできる入り口にいる えれこと でてとの きいのな ここには、そんな思いを持つ人たちがいる ななない のあることに興味はない わりなヤツだと言われてもかまわない 何故なら、私たちには私たちにしか見えない こここと 未来があるのだから ととと

#### 東工大ステートメント

#### **Spirit**

ちがう未来を、見つめていく。

まだ、見たことのないこと まだ、触れたことのないこと まだ、信じられていないこと まだ、想像さえできないこと

この世界に まだ、ないものを見つけ、創りだせた喜び そして、世界の人々の幸せにつなげていく喜び 私たちは、その喜びを手にできる入り口にいる

だから、何万回という失敗を楽しめる 闇の中を一人で進み続け たったひとつの答えを探し続けることができる 同じ夢を見る人と、国境も領域も超えてつながり 共に動き続けることができる

ここには、そんな思いを持つ人たちがいる 予定調和の結論はいらない 前例のあることに興味はない 風変わりなヤツだと言われてもかまわない 何故なら、私たちには私たちにしか見えない 未来があるのだから

#### **Action**

#### 尖らせる

私たちは知の源泉は、個人の多様性と先鋭性の中にあると考える。だからこそ、高い「志」を何よりも大切にし、基礎領域から応用領域まで、自由な研究と発想を尊重する。それとともに、"Student-centered"を教育理念に置いて、学生の主体的な学びを重んじることで、世界で活躍する人材の育成を目指していく。

#### 共鳴する

私たちはこれまでの垣根を超えて、新領域・融合領域の教育研究をさらに進める。個人の専門性を尊重しながら、大学が「知の共鳴場」となって、新しい知を持続的に生み出していく。さらに世界との協働、社会との連携を進め、開かれた教育研究機関として、新しい理工系総合大学の形を世界に先駆け実現していく。

#### 実装する

私たちは新たなイノベーションで人々の生活を 豊かにするために、大学から生まれた知を様々 な形で社会に実装していく。産学連携研究の進 化、科学・技術のコンサルティング、アントレ プレナーシップ醸成、ベンチャー育成・支援。 本学の変わらぬ理念である「新産業の創造」を 未来に起こしていくために動き出す。

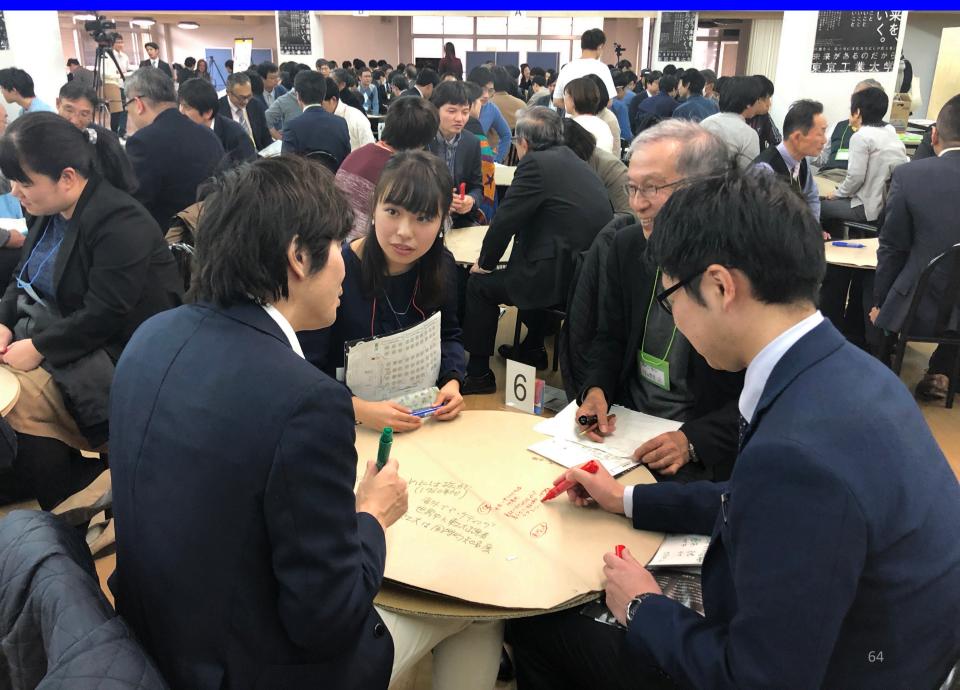
### 「東工大2030年ビジョン」を探る学長以下執行部のワークショップ(2016)から





2017年11月22日 (水) 14:00~17:30 + α

### 学生・教員・職員・OB全員集合!東工大の未来を語り合う大ワークショップへ!



#### 東工大HPニュースに大きく掲載。対話から共創・協働の文化へ

後半に「大ワークショップの紹介動画」<u>https://www.youtube.com/watch?v=BnGWwU9RQUI</u>

トップページ

東工大ニュース

学生、教職員、執行部、卒業生200名を集め 「東工大の未来を語り合う大ワークショップ」を開催

### 東工大ニュース カテゴリ別 教育 研究 社会連携 国際交流 受賞・表彰 学生の活躍 開催報告 来訪者 メディア 大学からのお知らせ プレスリリース 月別 2017年 2016年

2015年

2014年

2013年

2012年

2011年

## 学生、教職員、執行部、卒業生200名を 集め「東工大の未来を語り合う大ワーク ショップ」を開催

■ 開催報告

₹ RSS

2017.12.19

11月22日、東工大を支える各構成員のうち総勢207名(学生60名、教員53名、職員66名、執行部・卒業生28名)が大岡山キャンパス生協第一食堂2階コミュニケーション・ラウンジに集まり、「学生・教員・職員・卒業生全員集合!東工大の未来を語り合う大ワークショップ~2030年に向けた東京工業大学のステートメント『ちがう未来を、見つめていく。』をもとに~」が開催されました。本学でも最大規模となった本ワークショップでは、多様な学内関係者が1つの卓を囲み、東工大の一員として「対等」な立場で参加することを合言葉に、東工大の現在とこれからについて熱く語り合い、大いに盛り上がりました。



### **DLab**

Laboratory for Design of Social Innovation in Global Networks

★ Tokyo Tech

Follow Us



Language

~



社会とともに「ちがう未来」を描く

# 未来社会DESIGN機構

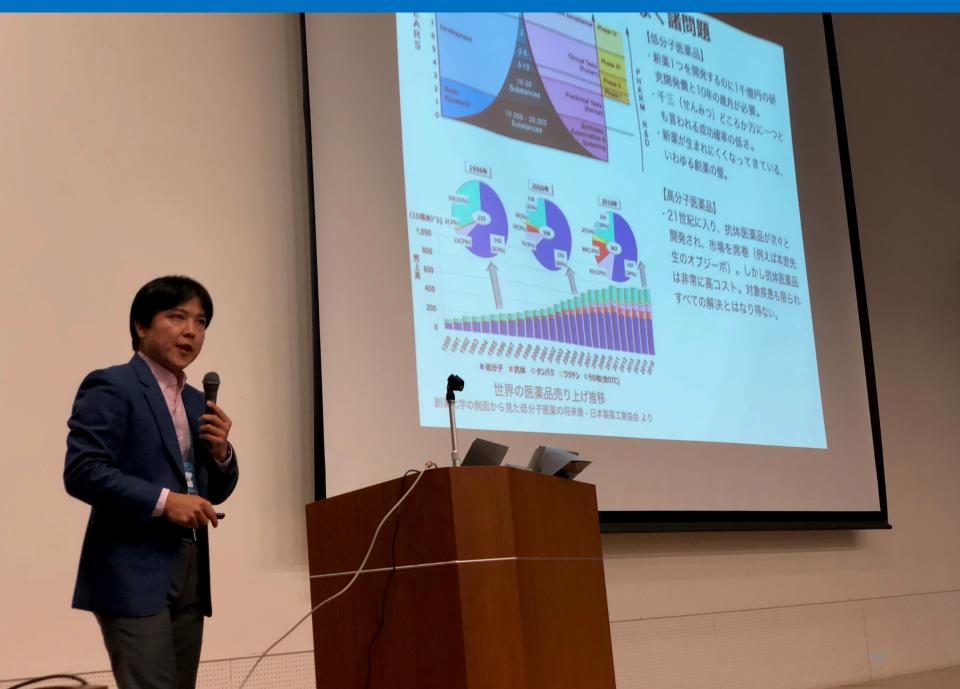
## 東工大未来社会デザイン機構(DLab) キックオフワークショップ(2018.10.28)



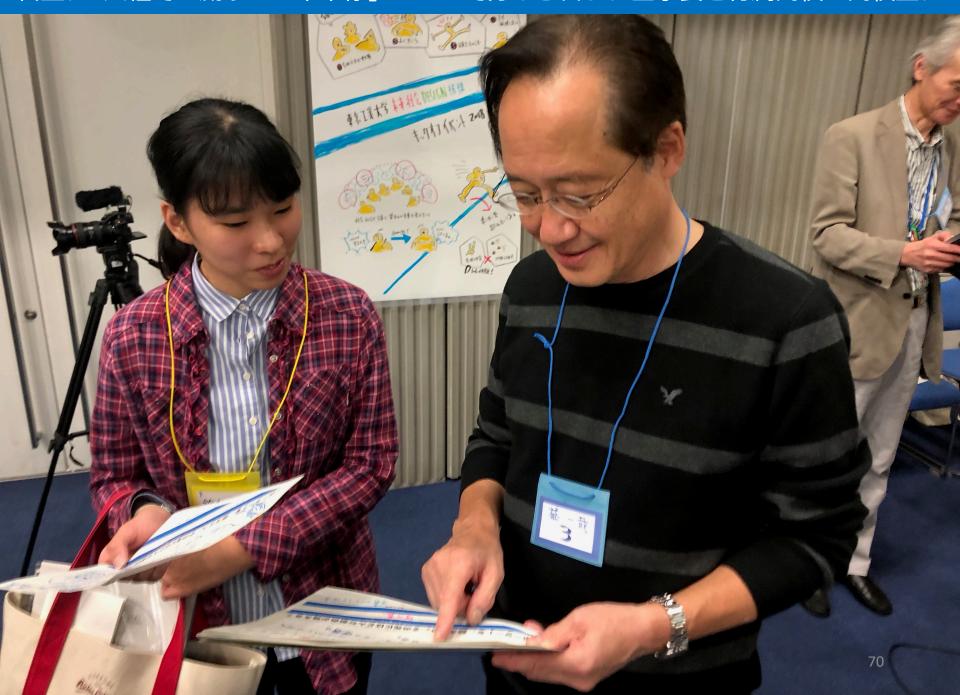
学生・教員・執行部・学外の社会人・高校生など百数十人で「創りたい未来」を探究



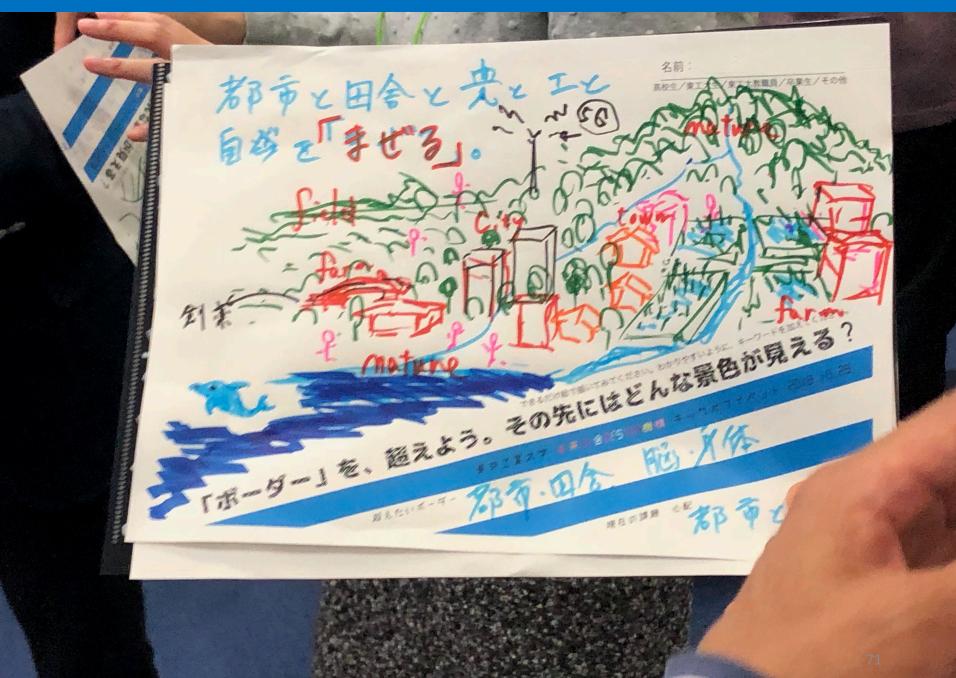
東工大で最先端の研究をしている3人の研究者のプレゼン。それを受けて対話。



終盤、2人組で「創りたい未来像」について分かち合う。益学長と付属高校の高校生。



ある参加者のボーダーを超えて創りたい未来像。都市と田舎、農と工と自然をまぜる。



#### 2020年コロナ禍で、Stay Home, Stay Geek.「お宅でいよう」 DLab緊急インタ







検索

Q







#16 中村龍平「深海の熱水噴出孔で生命が生まれた?」× 中野民夫 Tokyo Tech DLab "STAY HOME, STAY GEEK" 研究者インタビュー

150 回視聴・2020/06/05





≕↓保存

チャンネル登録

#### 次の動画



自動再生



東京工業大学 生命 理工学院 「生命... 東京工業大学

3469 回視聴・4 年前



#23 川名晋史「コ ロナ禍の本質を考...

東京工業大学 4 回視聴·1 時間前



#7 千々和伸浩「社 会も学問も垣根が...

東京工業大学 259 回視聴・ 1か月前



**Wolfgang Amadeus** Mozart: Clarinet...

Iceland Symphony ... Recommended for



#1 岡田健一「通信 のインフラとして...

東京工業大学 1260 回視聴・ 1か月前



#12 塚原剛彦「ナ ノの容器で見えな...

東京工業大学 166 回視聴・ 3週間前



#### 東京工業大学

チャンネル登録者数 2140人

新型コロナウイルス感染症の社会状況を受けて、東京工業大学 未来社会DESIGN機構 (DLab) から、東工大の研究者の対談をリレー方式で繋ぐ連載企画をスタートしました。 第16回は、地球生命研究所の中村龍平 教授をリーダーシップ教育院 中野民夫教授がインタ もっと見る



#### **DLab**

# DLab Dialog Day

Spring 2021

2021年3月6日[土] 13:30-17:30

※オンライン(Zoom)による開催

東京工業大学未来社会 DESIGN機構 (DLab) は、2018年の発足からワークショップ などを中心に、社会の皆さんと共に"ありたい未来"をデザインする活動をしてい ます。DLabではこれまでの活動を通して、24の「未来シナリオ」、「東工大未来年表」、 DLabとして初めての「未来社会像」を発表しました。

今年度はコロナ禍によりオンライン中心の活動となりましたが、この1年間の活動 を皆さんに紹介すべく "DLab Dialog Day Spring 2021" を開催いたします。



大竹 尚登

科学技術創成研究院



中野 民夫

リーダーシップ教育院/ リベラルアーツ研究教育院・教授



伊藤 亜紗

科学技術創成研究院 未来の人類研究センター長/ リペラルアーツ研究教育院・准教授



新田元

研究·產学連携本部 研究戦略部門長·上席URA



上田 紀行

2022年3月5・6

リペラルアーツ神跡 競手物 日に開催決定!



13:30-14:15 \* "Introduction & Activities"

DLab概要紹介 及び 2020年度の活動報告

学生による未来社会像の発表

14:20-15:20 \* "GEEK の輪" - STAY HOME でギーク達は何を考えたか -

研究者リレーインタビュー動画 「STAY HOME, STAY GEEK ~お宅でいよう~」に 出演の研究者によるパネルトーク

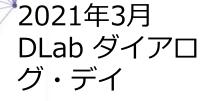
15:30-16:30 - "未来研究の芽" - 未来社会を創出する研究を支援 -

研究奨励金 「DLab Challenge」の採択者による 研究紹介&パネルトーク

16:35-17:20 \* "未来共創の場" - 企業との連携「DLabバートナーズ」 -

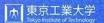






学生による未来 社会像の発表 4Q未来社会デザイン 入門受講生の優秀作 を発表し好評

#### 今年もやり ます。



Dialog

2022

#### 未来社会のRe-DESIGN

オンライン開催 (Zoom)



3月5日[土] 13:30-16:30

3月6日[日] 13:30-16:00

シンポジウム

ワークショップ

参加費 無料

#### プログラム

#### DAY1 シンポジウム

3/5 (Sat.) 13:30-16:30

- 13:30 "Introduction & Activities" DLabの2021年度の活動紹介
- 13:45 \* "未来社会の種" 学生の描く未来社会像 -「未来社会デザイン入門」受講学生による未来社会像の発表と 講義に参加した「DLabパートナーズ」の紹介
- 14:55 \* "未来研究の芽" 未来社会を創出する研究を支援 -研究奨励金「DLab Challenge」の採択者による 研究紹介&パネルトーク
- 16:00 \* "未来創造の幹" - DLab Future Techscapers 動画シリーズ -未来シナリオ実現につながる研究を考えるパネルトーク
- 16:25 ・ クロージング

DAY2 ワークショップ

3/6 (Sun.) 13:30-16:00

13:30 \* オリエンテーション

13:40 ・キーノートスピーチ1 コロナウィルスとは 何だったのか?

山口雄暉 生命理工学院 教授

14:00 ・キーノートスピーチ2 FUTURE: re-generative 未来を再生せよ!

松島倫明 『WIRED』日本版 編集長

14:20 ・グループワーク、個人ワーク

15:45 • クロージング



未来社会DESIGN機構ウェブサイト

https://www.dlab.titech.ac.jp/

お問合せ

東京工業大学未来社会DESIGN機構事務局

メール 🔀 lab4design@jim.titech.ac.jp

#### お申し込みはこちら

https://www.ocans.jp/titech/schedule?fid=WhjppG23 申込締切:2022/2/28(月)





# Part3. ファシリテーションの 基礎スキル

#### 学び合う場をつくる (オンライン) ファシリテーション 5 つの基礎スキル

『学びあう場のつくり方』(岩波書店)より

②話しやすい少 人数のグループ サイズの特徴は、 ほぼ共通。BOR で容易にグルー プ分けができる。

### ①場づくり

空間と関係性のデ ザインで安心安全 な場を調える

**5** 

# プログラム

サイズ

1、2、3、

4人組など、

様々なサイ

ズを使いこ

なす

デザイン

起承転結で、流 れのある展開を (3)

# 問い

身近で具体的 な本人の体験 や裁かれない 問いから順に

①空間はオンライン空間へ 劇的な変化!Zoomのブレ イクアウト機能に感謝!

> ③問いの組み立 て方もほぼ共通。 共通の話題は初 対面でも盛り上 がる。

### ④見える化

言葉やアイデアを 霧散させずに可視 化して積み重ねる ⑤は、ほぼ共通。 オンラインは 「無駄」がなさ すぎるかも。

④見える化がなかなかか厳しかった。 Googleドキュメントでの共有など有効。

76

# 1の技:「場」づくり 空間のデザイン+関係性のデザイン

- 「場」=空間(物理的)+関係性(心理的)
- 「空間」の物理的デザイン
  - 場所の選択、机やイスの並べ方
  - ズームで顔出し。「ギャラリービュー」皆同じ大きさで対面。
  - 特にブレイクアウト機能で少人数の小部屋に分ける。
    - リアルだと周りのグループの雰囲気が伝わってくるが、zoomだと隔絶。
- 「関係性」の心理的デザイン
  - 人と人の関係が雰囲気をつくる。初めは当然、緊張してる。
  - オリエンテーション+導入ワークで、受け入れる準備を
- さらに「時間」の扱い方も影響大!
  - ゆったり、だけどしっかりタイムキープ

# 2 の技: グループサイズ 小グループの活用

- 一度に皆では話せない
  - 他者がどう出るか気にし発言を控える文化。
    - 一人ずつ順に当てたら長々話す。時間足りない!
- さっとグループのサイズ (人数) を分ける
  - ペア(2人)で、3人で、4人で、5人で
    - グループ数の「番号!」をかけ「偶然の出会い」を演出
- 様々なサイズの特長を知り自由自在に繰り出す
  - まず2人ペア→4人→8人→全体等。時には一人も。
    - 時々、全体で、グループ発表や個人シェア

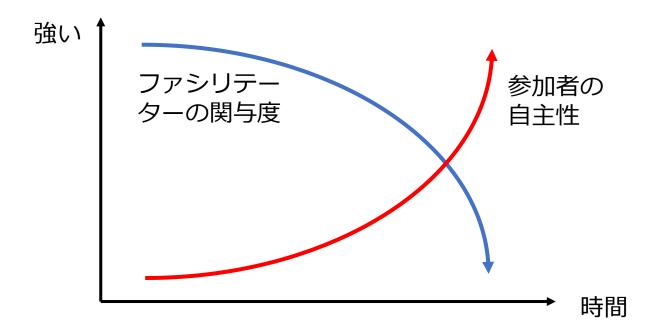
# 3の技:問い

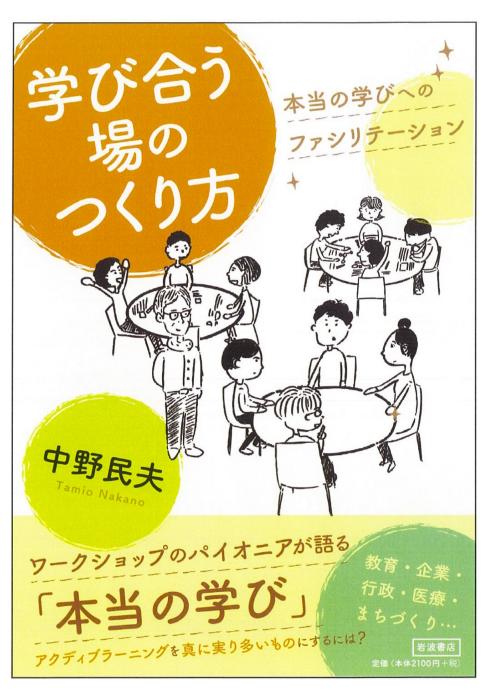
共通で触発的、身近・具体・裁かれない問いから

- 「問い」(お題)がいのち
- 共通で触発的な問いを
  - 皆に共通の関心事は何か?
- 身近で具体的、個人的な体験から
  - 頭や建前の「べき論」でなく、具体・実感から
    - 「自分の体験」から:「そもそものきっかけは」 「個人的体験は」
- (頭ごなしに) 批判されるのはイヤ!
  - 正誤・善悪など裁かれる怖れのない問いから始める
  - 次第に、本質的、抽象的にテーマに肉迫していく

## くまとめ> 最初は仕切って、徐々に任せよう。

- ・最初は丁寧に場づくり、徐々に信頼し委ねる。
  - →自分たちで一緒に創るって、楽しい!





ファシリテーション(=新しい支援型 リーダーシップ)に関心ある方はぜひ!

### 『学び合う場のつくり方

--本当の学びへのファシリテション』

How to create a collaborative learning community

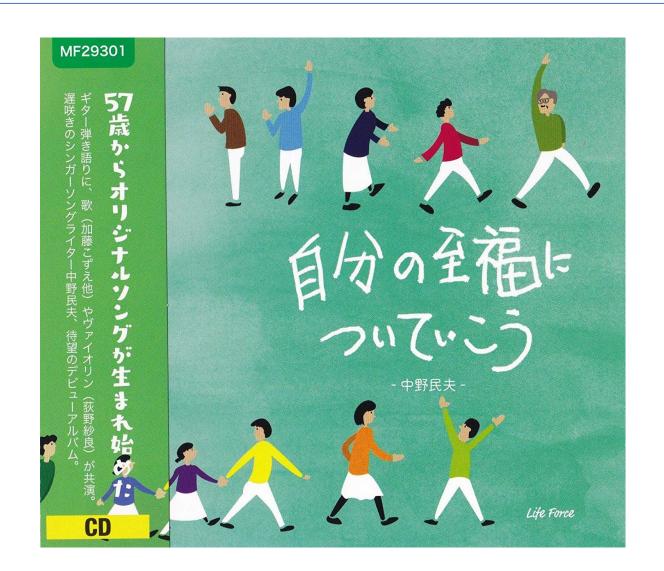
中野民夫 岩波書店2017





### 遅咲きのシンガーソングライター中野民夫デビューCD 「自分の至福についていこう」

オリジナルソング14曲収録



Amazonで 買えます!

#### 生きてるうちに

2017年2月15日 地球市民村仲間の訃報に接して 作詞・作曲:中野民夫

1)
C G Am Em
生きてるうちに 精一杯 がんばろう
F C Dm7 G7
がんばり尽くせばひとつに溶けて楽になれるから

生きてるうちに 精一杯 楽しもう きっといつか そのうちにでなく 今ここで

生きてるうちに 精一杯 歩こうよ 小さな一歩 積み重ねれば 遠くまで行ける

生きてるうちに 精一杯 学ぼうよ 知れば知るほど 奥が深いよ この世界

\*
Am Em Am Em
たとえ明日旅立とうと たとえ世界滅びようと
F G F G C
わたしだけに できる 一人分の仕事 やろう

2) 生きてるうちに 精一杯 笑おうよ おなか抱えて 笑いに笑って 涙が出るまで

生きてるうちに 精一杯 泣きましょう 涙がなければ たましいに虹は 見えないから

生きてるうちに 精一杯 怒ろうよ 身近な人やささいなことより 社会の不正義に

生きてるうちに 精一杯 愛そうよ 愛だの恋だの恥ずかしいけど みんな大好きさ \*

たとえ明日旅立とうと たとえ世界滅びようと わたしだけに できる 一人分の仕事 やろう

\* \* 生きてるうちに 精一杯 歌おうよ みんなで一緒に 謳い踊れば ラーラーララー ララー (ラララでもう1回〜数回)

#### ティク・ナット・ハン追悼ソング

### ゆっくり歩こう

作詞•作曲:中野民夫2022.2.20

歩こう 今ここ を 一歩 一歩 触れよう 美しい 星

ゆっ くり 味わおう この息を 入る息 出る息、 そのまま気づこう

ゆっくり 食べよう 自然の恵み つながる いのち あ~りがとう~

D<sub>m</sub>7

The-re is no way to happiness, Ha-ppiness is the way

愉~快に 生きよう~ いつかでなく 今ここ、

C G

始まりも 終わりもない みんなインタービーイング G7

奇跡の 今このとき 素晴らしいんだもん

ВЬ このひと息に、この一歩一歩に、あなたは ВЬ このひと息に、この一歩一歩に、微笑んでいます。

微笑んで いきます。

マインドフルネスを世界に広めた ティク・ナット・ハンが1月22日に95 歳で逝去。追悼イベントに向けて

1995年ティク・ナット・hジャン来日企画チラシ



Mindful Projectに書いていただいた色紙

